

公衆衛生看護学実習

単位数（時間数）：4 単位（180 時間） 必修/選択：選択 履修年次：4 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授・鈴木るり子

科目担当者（職位・氏名）：講師・松岡真紀子、助教・石田知世、助教・磯島実奈

対応DP：人間力 ケア・スピリット 人間の実践的理解 専門的知識・技術とその臨床実践
多職種連携・チームワーク アドボカシー

科目記号：93

■ 授業概要

行政における保健活動をとおして、公衆衛生看護活動の展開方法と保健師の役割について学び、公衆衛生看護の実践に必要な基礎的な知識・技術・態度を修得する。また、学校保健活動における養護教諭の役割・機能や、産業保健における看護活動の実際を知り、公衆衛生看護活動との関連性とケアのあり方を理解するための基本的能力を養う。

■ 到達目標

<保健所・市町村>

1. 保健所と市町村における公衆衛生看護活動の機能の違いを理解し、説明できる。
2. 地域に生活するさまざまな健康レベル、ライフステージに応じた公衆衛生看護活動の特徴と方法について理解し、説明できる。
3. 対象となる地域の特性や生活と健康状態を包括的にアセスメントし、地域の健康課題を考察できる。
4. 対象者の継続的な支援と保健・医療・福祉等との連携・協働の意義および方法について説明できる。
5. 個人・家族から、地域全体への支援を関連させて考えることができ、地域全体の健康レベルを向上させるための公衆衛生看護活動を考察できる。
6. 公衆衛生看護活動における企画から評価までの PDCA サイクルを理解し、説明できる。
7. 住民組織の育成プロセスと住民主体の取り組みへの支援方法について理解し、説明できる。
8. 公衆衛生看護管理の視点から公衆衛生看護活動を理解し、説明できる。

<学校>

1. 保健室の機能ならびに養護教諭の役割・機能について理解し、説明できる。
2. 児童生徒の発達段階、成長発達の実際を知り、実践に必要な基礎的能力を理解し、説明できる。
3. 学校における緊急対応や安全衛生管理を理解し、説明できる。
4. 養護教諭が行う健康管理や保健活動の実際を理解し、説明できる。

<事業所>

1. 労働者の安全衛生の取り組みにおける看護職の役割について理解し、説明できる。
2. 事業所の健康課題と健康を保持増進する仕組みを理解し、説明できる。
3. 産業の場における主体的な健康づくり活動を組織的に推進する方法を理解し、説明できる。
4. 健康保険組合や他機関・他職種との協働における看護職の役割を理解し、説明できる。

<家庭訪問>

1. 事前情報から支援が必要な課題を予測し、対象に応じた支援計画の立案ができる。
2. 対象に応じたコミュニケーションをとり、情報収集・アセスメントを行い、指導のもとで支援を実施できる。
3. 実施した家庭訪問の記録ができる。
4. 実施した家庭訪問の評価を行い、今後の支援方針・計画を立案できる。

<町内会>

1. 個別の健康問題から集団の健康課題をとらえるプロセスを理解し、説明できる。
2. 事業の企画・実施・評価の一連を通して、住民の健康管理の方法について説明できる。

■ キーワード

公衆衛生看護、保健所、市町村、学校保健、産業保健、個人・家族・集団・組織への支援、公衆衛生看護管理

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

月・日（曜日）	授業内容・授業方法	担当
<p>2024年 5月13日（月） ～ 9月20日（金）</p>	<p><保健所・市町村></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康相談や家庭訪問への参加を通し、健康課題の把握、および保健指導の方法について学ぶ。 2. 健康診査への参加を通し、健康診査の方法、フォローアップの方法、多職種および関連機関との連携について学ぶ。 3. 集団への健康教育に参加し、効果的な健康教育の展開方法と健康教育におけるPDCAサイクルを学ぶ。 4. 地域組織活動に参加し、活動の意義や保健師の支援方法について学ぶ。 5. 感染症・難病・精神保健における支援システムを理解し、保健師の役割について学ぶ。 6. 保健師から健康危機管理について講話を受け、平時・発生時・復興時の保健師活動について学ぶ。 7. 個人・家族から、地域全体への継続支援を展開することによって、地域全体の健康レベルを向上させるための公衆衛生看護活動における政策提言について学ぶ。 <p><学校></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 副校長・保健主事、養護教諭から学校保健の現状や課題、当年度の重要課題と年間計画、安全衛生管理、危機管理対応について講話を受ける。 2. 養護教諭の指導の下、学校巡視、保健室での救急処置、健康相談、資料作成・整理などの活動を見学または実施する。 3. 学級指導、学校行事などの企画がある場合は参加する。 4. 保健所や市町村保健センター、児童相談所など、他機関との連携について説明を受ける。 <p><事業所></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 年間の安全衛生対策の計画と具体的な取り組みについて説明を受ける。 2. 実際の活動の企画に参加する。 3. 保健所や市町村保健センター、医療機関など他機関との連携について説明を受ける。 	<p>共同</p>

	<p><家庭訪問></p> <ol style="list-style-type: none">1. 対象者が居住する地域について、地域アセスメントや地区踏査を通して把握する。2. 家庭訪問計画を立案する。3. 2回の継続した家庭訪問実習を教員同行の下で実施する。4. ケースカンファレンスを行う。 <p><町内会></p> <ol style="list-style-type: none">1. 盛岡市中川町について、地域アセスメントや地区踏査を通して把握する。2. 中川町の健康課題に対する事業計画を立案する。3. 事業計画について地域住民と共有する。4. 事業計画に基づいて事業を実施し、評価を行う。	
--	--	--

■ 先行要件

公衆衛生看護技術論、公衆衛生看護管理論、地域看護学実習を履修していること。

■ 成績評価方法

保健所・市町村実習 50%、学校・産業保健実習 10%、個人・家族・集団・組織の支援実習 20%、公衆衛生看護管理論実習 20%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

レポートのフィードバックは、コメントを付して返却する。

■ 教科書

- ・ 標美奈子他著（2022）『標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論 第 6 版』医学書院
- ・ 中村裕美子他著（2023）『標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術 第 5 版』医学書院
- ・ 中谷芳美他著（2024）『標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動 第 5 版』医学書院
- ・ 藤内修二著（2021）『標準保健師講座 別巻 1 保健医療福祉行政論 第 5 版』医学書院
- ・ 牧本清子他著（2015）『標準保健師講座 別巻 2 疫学・保健統計学 第 3 版』医学書院
- ・ 井伊久美子他編（2024）『新版 保健師業務要覧 第 4 版 2024 年版』日本看護協会出版会
- ・ 厚生労働統計協会編（2023）『国民衛生の動向 2023/2024』厚生労働統計協会

■ 参考書・参考資料等

- ・ 勝又浜子他編（2024）『看護法令要覧 令和 6 年版』日本看護協会出版会
- ・ 市村久美子他編（2018）『ヘルスプロモーション』メヂカルフレンド社
- ・ 佐伯和子編著（2018）『地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第 2 版 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案』医歯薬出版
- ・ 金川克子他編（2011）『地域看護診断 第 2 版』東京大学出版会

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

実習オリエンテーションで提示します。

■ 担当教員からのメッセージ

看護の視点を広げる大きなチャンスです。また、保健師国家試験ともかかわっています。毎日の体験を大切に意味づけていってください。交通移動も多いので、安全に気をつけてください。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

実習オリエンテーションで提示します。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

保健師・研究職

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

有

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

保健師

■ 実務経験を活かした教育内容

保健師の行政機関での実務経験を活かし、専門的で実践的な指導を行います。